

会 議 記 録

政策企画局 市民参加・協働推進課

開催日	平成 24 年 12 月 12 日(水)	開催時刻	9 時 30 分から 11 時 30 分
会議名	上田城南地域協議会(平成 24 年度第 9 回)		
出席者	荒井委員、荒木委員、石井信子委員、石井真奈美委員、岩木委員、岩下委員、上原委員、新谷委員、寺島委員、長岡委員、西川委員、牧野委員、宮下省二委員、宮下千元委員、宮島委員、山浦健太郎委員、山浦正嗣委員、山崎委員 (欠席委員) 斉藤委員、西澤委員 (事務局) 池田地域振興政策幹、北沢市民参加・協働推進課課長補佐、堀内市民参加・協働推進課主査 (説明者) 加美幡そば愛好会 松井氏、下崎氏		
会議次第	<p>1 開会(事務局)</p> <p>皆さんおはようございます。定刻になりましたので只今から上田城南地域協議会を開催したいと思います。よろしくお願いいたします。本日はわがまち魅力アップ応援事業報告会ということで、神畑の「加美幡そば愛好会」の皆さんにお話をさせていただきます。「加美幡そば愛好会」の松井様と、下崎様です。よろしくお願いいたします。</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>おはようございます。早いもので 12月の師走に入りました。暑い夏が過ぎ、今度は極端に寒い毎日ですが、時が過ぎるのは非常に早いものでございます。本日は、先ほどご紹介のありました神畑の「加美幡そば愛好会」の皆さんにお話をさせていただきます。この事業は、前年度の地域協議会で、魅力アップ事業の審査をして、決定した企画でございます。今日は、お二人にお越しいただきましたので、ご苦労話なり、過日行われました収穫祭が新聞に載っていましたがその辺のお話をお聞かせ願いたいと思います。</p> <p>3 会議事項</p> <p>資料・加美幡そば愛好会 実施概要報告書 ・加美幡そば活動報告</p>		

会長： 時間は特に制限がございませんので、十分お話していただいて、その後に質問等聞きしたいと思います。ではご説明をお願いします。

加美幡そば愛好会： 只今、ご紹介にあがりました、私「加美幡そば愛好会」の松井と申します。下崎です。会計と加工の担当をしています。今日は、お話をいただき、説明にまいりました。この会の発足にあたりまして今年の2月に「わがまち魅力アップ応援事業」に応募しまして、プレゼンをここでさせていただきました。それから約8ヶ月が経ちますが、2月の時点では我々の会がどのようなことを計画しているのかお話をさせていただきました。お話では今日の地域協議会委員の方は、その時のメンバーの方と半分くらい変わられているということですので、最初に事業の趣旨等を説明させていただきたいと思います。その後、実施した事業概要について説明させていただきます。(資料に基づいて説明・スライド写真を見ながら説明)



会長： 神畑の皆さんの呼びかけと説明されていましたが、住民の皆さんが一つになって、一つの大きなコミュニケーションが出来ていて、ほのぼのと感じられ、地域の生き方がこのような所にあるのだなと感じた次第でございます。それでは質疑をお受けしたいと思います。

委員： 休耕地の肥料なのですが、どのようにやられたのか教えていただけますか。

加美幡そば愛好会： 肥料は一切、やっておりません。先ほどもスライド写真にもありましたが、葡萄畑だった所を手入れをしてやっていました。5年くらい経過しましたが、比較的肥料も残っていたと思います。そこは草がかなり出て、刈り取りにもコンバインが草まで取ってしまいが苦労しました。肥料はなしで痩せた土

地で良いと考えております。それから、肥料よりも種の蒔き方が非常に重要でした。濃く蒔くと茎が細くなり、荒く蒔くと草が生えてきてしまう。草が蕎麦を越してしまう。そのような場所も何箇所ができてしまいました。そのタイミング、適量が勉強になりました。今回、我々は手蒔きで行いましたが、手蒔きの方が良かったです。

委員： 会員は神畑の区民の方、限定となっていますがこれはどうしてですか。

加美幡そば愛好会： これはどうしても活動に限度がありますから、地元の神畑地区内でありまして、神畑区内の人の範囲でまずスタートしたいと思いました。

委員： それから、24年度の栽培予定地の地図を見て上田原も入ってくるようになるのですが、これからもし上手くいくようであれば会員も広めていくような感じですか。

加美幡そば愛好会： 地図の一番端は一部、上田原地籍であります。これは地権者が神畑の方で、荒廃地であり地籍は神畑なのでここもやりたいのですが、今の所、大きいトラクターが入ってくる搬入路が無いので検討中です。

委員： 出来上がったそば粉・焼酎はどこかで販売されるのでしょうか。

加美幡そば愛好会： 今、現在販売されているのはそば粉 500 グラム入りで、この間の収穫祭で希望される方に販売しました。販売数は70袋くらいです。売り上げは、今後の運営資金に当てていく予定です。それから、今現在、約 600 キロ弱殻付きの粉があります。この一部を粉と焼酎に分けて販売したいと思っている。これは来年度の運営資金に当てます。今年は「わがまち魅力アップ応援事業」で 100 万円の補助金をいただきまして、そのうちの約 73 万円が今年度の資金に入りました。来年度は残りの 26 万円くらいと会員の会費の分しかありません。今年度は初めてということで看板や小型工作機械の搬入で費用を使っていますが、約 60 万円は掛かるので、そうすると今後継続していくためには、販売をしてその資金で運営していかなければならない。そんな予定です。

今年は蕎麦の実がガクッと下がってしまい、去年の半分以下ということで苦労しています。非常に今年は豊作だそうです。

委員： そば粉と焼酎のお値段はいくらですか。

加美幡そば愛好会： そば粉は 500 グラムで 500 円。非常にこれは安いと思います。蕎麦焼酎は今の所、会員の中での限定販売です。今年度、県の醸造試験場の方で試験的にやってもらっています。試験場から出ると酒税を支払ってやるのですが、本来は販売の時は税金を納めないといけない。いわゆる酒屋さんに納めないといけないので、それを我々はやっていないので限定の範囲、会員のみでの販売を行っています。来年度、焼酎の販売となりますと、酒税も掛かるので現在その手続きをやっております。値段は 1,200 円です。

委員： 地権者が行っているということで、借用のお金は無料ですか。

加美幡そば愛好会： 地権者からは無料で良いですと言われています。多くの方が年配の方やこの地域に住まわれていない方なので、皆さんから承諾を受けています。そうは言っても我々は借りているという利用権の設定では、わずかながら「坪 5 円」でお借りしています。

委員： 年間では 2 万円弱ですね。

加美幡そば愛好会： はい、そうです。

委員： 会員の数なのですが、何かをやるのに会員を集めるのが大変だと思う。66 名の方が集まるというのは何か団体の母体があって集まったのか、それとも全く関係なく神畑の住民の方をお願いしたのですか。

加美幡そば愛好会： この事業は自治会と全く切り離しております。ですが、私共、去年自治会の三役をやっておりました。多くの人達を動かすには会員の中で班を作って活動しています。5 班に分けてあり、その中に役員が入っていて、その役員それぞれが班の会員にお願いしています。この事業を始めてから役員の動ける人の範囲が物凄く負担になってしましまして、それと会員の方にも作業等にも出ていただいている。もっと企画にも加わってもらいたいというのが我々の考えです。来年は班の区別をもっとハッキリしてその中で連絡員役を考えている。そのような組織化を考えています。

委員： お話をお聞きして素晴らしい計画、実行力だと思います。当初会員の皆さんが 20 名程とおっしゃっていて活動されている間に増えたのですね。その年齢構成は若い人達もかなり入ってきているのですか。

加美幡そば愛好会： 年齢構成としては若い人達も入ってきております。40代50代です。

委員： 20代はいないですね。そのようなことをやり始めて、自治会の若い人達も賛同して入ってくるようなことは今年は無かったですか。

加美幡そば愛好会： 募集した会員が、先ほど言いました役員がいて、その役員が発起委員会を開いて20名くらい興味のある方が最初に会員になられた。「わがまち魅力アップ応援事業」の前に回覧して募集しました。その時に入られた方も併せて60名になりました。若い人にも参加してもらうことを我々も願っています。

委員： そうですね。休耕地、荒廃地をなんとかしてもらうためには必要ですね。

加美幡そば愛好会： でも写生、写真会には若い人達が多いですね。

委員： この別所線の沿線、休耕地、荒廃地がかなり多いと感じた。私は築地に住んでいて周りにも田んぼとか多いのですが、まだ休耕地が無くて米を作っている。この休耕地は殆んどこの地域に生まれて他の地域に移った人の私有地ということですか。

加美幡そば愛好会： 半々くらいになります。こちらに住んでいる方は高齢者で作らない。先ほど葡萄畑と言った所は畑です。あとは田んぼです。休耕地でもかなり山の方もあるので使ってくれないかという要望もあります。でも、山の方はなかなか入れないし、鳥獣被害が出ていて蕎麦はすぐ鹿にやられてしまう。そのようなことから、山の方はやめて沿線の方できるだけ里の方でやっています。

委員： 説明であったように、玄蕎麦は約750キロ、そば粉は100キロくらいですか。これは来年度以降の資金となるとして、これを計画的にやっていかないと資金にならないと思うがその辺はどのように考えていますか。

加美幡そば愛好会： 当初の見込みでは玄蕎麦にして売るにしても蕎麦粉にして売るにしても大体、20万円くらいは運営資金に見込んでいました。色々な情報ですと殻付きではキロ100円とか150円のように。でしたら粉にして、粉を色々使おうと思う。粉にすると殻付きからおよそ6割安くなる。

委員： 早いところ捌かないとその保管料もかかるのではないか。

加美幡そば愛好会： 今は会員の倉庫に入れているので無料です。

委員： 大変立派な事業で関心しているのですが、農機具のお借りした毎年のお金は凄いと思う。34万円くらい掛かり、そこから初期投資分を引いても毎年30万円くらいは掛かると思うのですが、今年は荒れ地を耕してこれだけ掛かったようで、来年度以降の事業を続けていただくためにはこれほど掛からないと理解して良いか。

加美幡そば愛好会： そうです。来年度以降は、最初に耕す作業が2、3回で良いと思う。それから出来あがると違って来る。既に1年間耕した場所ですから。

委員： もし、そば粉等を販売するとなればどのような販売ルートを考えていますか。例えば、「上田 道と川の駅」に置くとか考えていますか。

加美幡そば愛好会： 今、色々と考えております。当初の予定では蕎麦焼酎につきましては地元の酒屋さん、セブンイレブンのオーナーが皆さん会員になっていきますからそのようなルートを検討中です。そば粉についても個別販売を考えておりましたが量が多くなるので、つい最近も「Aの西部地域活性化協議会」の方から色々とおアドバイスをいただいたのですが、道の駅や直売所などで販売することも検討しています。これからさらに具体化していく予定です。

委員： 今年度欲しいという方がいらした場合は、どうしたら良いでしょうか。

加美幡そば愛好会： そば粉は下崎が保管していますから、ご連絡下さい。

会長： 加美幡神社では、確かよくお祭りをやっていますよね。

加美幡そば愛好会： 神社としては区民参加の秋祭りだけやっています。

会長： 最後に何かありますか。

加美幡そば愛好会： 私共、今年一年やりまして、会についてですが、神畑区民の方で、場所も神畑区内ということでやっています。色々話をお聞きしていると今回もこちらで説明させていただき、ラジオ放送、新聞にも出て問い合わせも増えていきます。前城南地域協議会の田中会長から、もっと城下から別所の方まで広げて欲しいとお話もありましたが、なかなかそこまではできませんし、まず、地元の所で

きちんとやっていきたいと思っています。それと、今後「別所線の将来を考える会」とも連携をとっていきたいと考えております。

会長： ありがとうございます。城南地区のモデル事業になる要素が十分あると思います。どうもありがとうございました。

その他： 城南かわら版第2号 完成のお知らせ
城南公民館完成式のお知らせ

日程確認

4 次回会議の開催と日程について

第10回城南地域協議会 平成25年1月23日(水)

第11回城南地域協議会 平成25年2月13日(水)

5 閉会